

富士山河口湖音楽祭 2026

第7回打楽器マスタークラス

実施要項

<富士山河口湖音楽祭マスタークラス開催目的・特徴>

＊クラシック音楽の素晴らしさを真に伝えていく人になってもらうために

音楽を伝える心や、美しさを育む根を育てるために

富士山麓の素晴らしい環境の下、深く芸術について考え、より自分自身の感性を見つけられる機会になってほしい、との願いからこのマスタークラスは生まれました。

＊演奏家として世界的な評価を受けた、日本を代表する講師から2回の個人レッスンを受けます。また、受講生は講師とのアンサンブル(デュオ)のレッスンも受講できます。

そして、最終日には披露演奏会で発表するという超濃密プログラムになっています。

<音楽祭の教育プログラムとして実施するため、この環境と金額で実現できています！>

<日程>

打楽器マスタークラス

2026年8月12日(水)～8月14日(金)※2泊3日

<講師>

池上英樹 打楽器・マリンバ・パフォーマンス

<会場>

山梨県・河口湖ステラシアター TEL 0555-72-5588

401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津5577

山梨県・河口湖円形ホール TEL 0555-76-8822

401-0304 山梨県南都留郡富士河口湖町河口3030

<宿泊先>

ホテル登り坂

TEL 0555-72-5300

401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6832

マスタークラス詳細予定：8月12日（水）～8月14日（金） ※2泊3日

8月12日（水）10時集合、個人レッスン、アンサンブル練習（宿泊）

8月13日（木）個人レッスン、アンサンブル練習（宿泊）

8月14日（金）個人レッスン、アンサンブル練習、披露演奏会

<応募資格>

原則16歳以上（16歳未満はお問合せ下さい）

<募集人数>

4名まで（書類、演奏資料選考あります）

<オーディション>

YouTube上に演奏動画をアップロードしてください。

（URLを、メール本文に明記。申込者の氏名が確認できるようにお願いします。）

申し込み人数が上限に達した時は録音審査で選抜させていただきます。

<受講料>

88,000円

<8/12~14の合宿での個人レッスン、アンサンブルレッスン、宿泊費、食費、楽器使用料含む>

*現地までの交通費は受講者負担

<応募方法>

受講申込書と審査用音源を、申込先（富士山河口湖音楽祭実行委員会）までオンラインにて提出すること。

<*ご記入いただいた個人情報は富士山河口湖音楽祭に関わるご案内のためだけに使用いたします>

オンラインでの提出ができない場合は事務局までお問い合わせください。

●提出先住所

富士山河口湖音楽祭実行委員会「池上英樹打楽器特別プログラム」事務局

401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津 5577（河口湖ステラシアター内）

TEL 0555-72-5588 FAX 0555-72-5578

E-mail : stellar@town.fujikawaguchiko.lg.jp

<募集締切>

2026年 7月 31日（金）

<結果通知>

結果は8月5日(水)までにメールにて通知します。

<参加料>

結果案内と合わせて、オーディション通過者には受講料振込のご案内をさせていただきます。(尚、オーディションに参加に伴う応募料等の費用はありません)

<キャンセルポリシー>

オーディションに合格した方で受講料のお振込頂いた後のキャンセルは受付できません。

なおいかなる理由においても受講生自身の都合による振り込み後のキャンセルにはキャンセル料がかかります。詳しくは合格者へのご案内をご確認ください。

<受講生の特典とご案内>

受講生はすべてのマスタークラスを無料で聴講できるほか、音楽祭のアーティストの出演するコンサート(一部除く)や、そのリハーサルを無料で鑑賞できます。

*コンサートによっては、チケットの枚数が限られる場合があります、事前の予約が必要になります。

<コンサート出演>

マスタークラス受講生は8月14日(金)披露演奏会(池上英樹リサイタル第1部)に出演予定です。

講師とのアンサンブルと選考によるソロの出演もあります。

<お問い合わせ>

富士山河口湖音楽祭実行委員会 「池上英樹 打楽器特別プログラム」事務局

401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津 5577 (河口湖ステラシアター内)

TEL 0555-72-5588 FAX 0555-72-5578 (9:00~16:30 ※火・祝翌休)

E-mail : stellar@town.fujikawaguchiko.lg.jp

<主催>

富士山河口湖音楽祭2026実行委員会

講師プロフィール

池上英樹 （打楽器・マリンバ・パフォーマンス）

8歳からジャズ、ロックドラムを始める。第46回ミュンヘン国際音楽コンクール打楽器部門で最高位入賞。第16回日本管打楽器コンクール打楽器部門第2位入賞。2004年度青山音楽賞、2005年度文化庁芸術祭音楽部門新人賞などを受賞。大阪教育大学を経て、ロームミュージックファンデーション、野村国際財団より奨学金を受け、パリ国立音楽院（CNR）、パリ国立高等音楽院（CNSM）、カールスルーエ音楽大学（KE）で学ぶ。

1997年より、パリ日本年記念公演、ベルリン室内楽フェスティバル、ミュンヘンJazz&More フェスティバル、ケルンフィルハーモニーでの公演など世界各地のフェスティバル、現代音楽祭に招かれる。ヨーロッパ各地での演奏活動の後、活動を一時休止し、打楽器音楽を一から学び直す。著名なオペラ歌手、ピアニスト、ヴァイオリニストなどに教えを受け、ベルカント唱法を基盤にしたテクニックを打楽器に応用し、実践し始める。2004年リサイタル〈Performance!!〉で日本デビュー。世界各国の音楽祭の他、富士山河口湖音楽祭、ラフォルジュルネジャポン、東京春音楽祭、仙台クラシックフェスティバル、サントリーサマーフェスティバル、軽井沢音楽祭、ロームミュージックフェスティバル等に出演。コンチェルトでは東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、オーケストラアンサンブル金沢、日本フィルハーモニー交響楽団などと共演している。

山梨滞在期間に町の人々の交流を目的として始めた、自宅を開放したコンサート（西湖芸術の家コンサート）やワークショップを企画実施、バスツアーも組まれるほどの好評を博す。またその活動がドキュメンタリー番組や24時間テレビなどで放送。テレビ朝日〈題名のない音楽会〉で「パーカッショニスト・池上英樹登場!」「反田恭平の音楽会でのデュオ」「音楽家の筋肉を知る音楽会」が放送される他、メディアへの出演も多い。打楽器奏者として、サントリー音楽財団25周年記念公演でクセナキス〈オレスティア〉の打楽器ソロを務める。その他、即興演奏、ダンスとのコラボレーション、音楽するカラダと題したワークショップなど、常に新しい打楽器の可能性を模索、追求している。マリンバでは、古今の名曲からジャズ、現代音楽に至るまで縦横無尽なレパートリーを持ち、2013年に東京春音楽祭にて全曲バッハプログラムで公演を行う。フラメンコの影響から、ロマ音楽に魅せられ、近年多くの楽曲を作曲、編曲、演奏している。2014年より打楽器を中心にダンスパフォーマンス、歌などを融合させた自作自演の一人舞台〈MOSAIC-モザイク〉を発表し始め、2018年坐高円寺にて全曲自作自演のモザイクを成功させる。またNHK大河〈おんな城主 直虎：菅野よう子作曲〉の打楽器を担当、2019年国民祭典にも出演など、クラシックの枠を超えての活動が広がっている。日本を代表する打楽器奏者。